

学校評価アンケート(R6 前期)集計結果について

2024/9/03

保谷小学校 校長 加納直樹

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。学校の教育活動の振り返りと改善を目指し、保護者・児童・教職員に学校評価アンケート調査を実施させていただいております。

前年度 12 月末に実施したと同様の内容で、7月に実施した教育調査結果をお知らせいたします。1学期末のご多用の時期にもかかわらず、多くの保護者の皆様にご回答いただきました。ありがとうございました。いただいた結果を真摯に受け止めて今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。集計結果につきましては裏面にまとめましたのでご覧ください。

1 調査結果より成果と課題について

【成果】

回答結果は、教員・児童・保護者とも昨年度とほぼ変わらない数値でした。校長として何よりうれしく感じていることは、全校児童の回答結果が、調査項目すべてについて、肯定率が 80 点を超え、平均すると 84.4 点という、高い結果となりました。特に、「授業の工夫(熱意)」「基本的生活習慣の指導」「防災教育」については、90 点を超える肯定率で、今年度、教員がどの子にも分かりやすい授業を目指し、各教科子どもたちの興味関心が高まるような教材を準備し、指導法を工夫していることや、一人一台の専用タブレット端末を活用した授業など様々な取組が子どもたちにも評価されたものと考えます。保護者の方による調査の回答を見ると、多くの項目で肯定的評価(とてもそう思う+そう思う)をいただいております。その中でも私が校長として学校経営方針の柱として掲げている「学校経営方針②…保谷小に子どもを通わせてよかったと思っている」「授業の工夫…熱意をもって学習指導に当たっていると思う」が 80 点を超える高い評価をいただけたことは大変うれしく思います。

【課題】

保護者の方の回答においては、平均すると 75.3 点で、すべての項目において前回より数値は少し下がりました。肯定率の低かった項目は、今回も「学校の取組発信」(いじめ・不登校の未然防止、早期発見・解決への組織的な対応や指導)が 64 点でした。本校は毎週月曜にいじめ防止対策委員会、木曜に生活指導夕会を開き、校内のいじめや不登校について教職員の共通理解を図っています。また、年3回のいじめアンケートの実施、スクールカウンセラーとも連携しながら児童のいじめ・不登校などについて未然防止に努めているのですが、保護者の皆様への情報発信が足りていないことを反省し、情報発信に力を入れるとともに、未然防止や早期発見・早期対応に努めてまいりたいと考えております。

他にも「教育相談体制」(子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、その解決を支援してくれていると思う)という項目についても保護者の肯定率は 69 点でした。本校では、毎月あったか先生研修会を実施したり、学期初めに担任と児童が全員面談を実施したりするなど、教職員の肯定率は 82 点と高く、今後教員と保護者の評価の差を埋めていけるよう、児童や保護者の方々の気持ちに寄り添った対応など、日々の努力を続けていきます。

また、「学習評価…子どものよいところを認め、個人面談やノート・作品の評価、通知表などで子どもの学習状況が分かるように伝えていると思う」が 72 点と低い数値でした。熱意がある教職員が揃っていることは本校の強みではあるのですが、学習成果の実感は低く、子どもたちの力を思うように伸ばしてあげられていないと感じている面があります。この点につきましても、今後教職員とも学習評価や、分かりやすい授業について再考し、学校として真摯に改善に向けて取り組んでいこうと強く思いました。「友達や先生、いろいろな人とかわり、共に学び成長できる」と思われるような学校づくりを目指していきたいと考えます。

2 今後の保谷小の教育について

学校評価に寄せられたご意見をもとに、教職員、学校運営協議会で検討し、子どもたちのよりよい学校生活を目指して教職員一同さらに努力してまいります。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。